



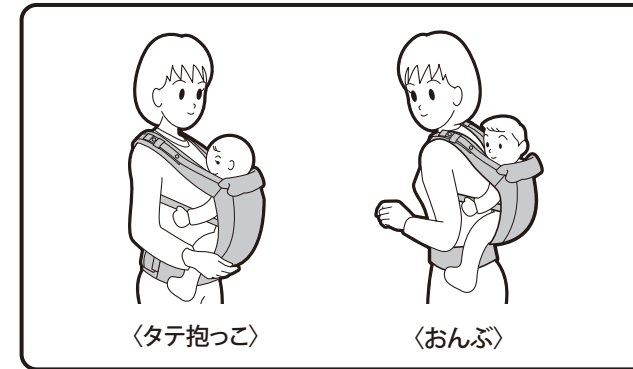
ルーポップ

Roopop

抱っこひも

取扱説明書／保証書

首がすわってから体重15kgまでのお子さま1人用抱っこひもです。



- ・腰ベルトサイズ：74cm～118cm。
- ・体型によって冬場など厚着の時には使用できない場合があります。

このたびはGRACO®製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書(本書)をよくお読みの上、正しくご使用ください。
本書に記載されている以外の方法でご使用されると、製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。
本書をお読みになった後は、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

もくじ

ご使用前に	
抱っこひもについて	1
表示内容について	1
使用できるお子さまの月齢について	1
製品を取り出した時に	2
各部の名称	2
ご使用上の注意	3
バックルの使い方	5
各部の調節方法	5
タテ抱っこ〈首がすわってから 体重13kgまで〉	
タテ抱っこの準備	6
タテ抱っこの装着方法	6
タテ抱っこの確認	8
おんぶ〈首がすわってから 体重15kgまで〉	
レッグホルダー	9
おんぶの装着方法	9
おんぶの確認	11
月齢が小さい時	12
おんぶの降ろし方	12
タテ抱っこからおんぶへ	13
その他	
フード／快適な抱っこのために／本体の折りたたみ方	15
点検について／お手入れについて	16
保証とアフターサービスについて	16
SGマーク制度について	17
保証書	18

- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

抱っこひもについて

- ・この製品は、お子さまを抱っこやおんぶして、外気浴、買い物の時などに使用するための1人用抱っこひもです。
ご使用前にP2「製品を取り出した時に」をご確認ください。

表示内容について

- ・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表 示 の 内 容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

表 示	表 示 の 内 容
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

使用できるお子さまの月齢について

- ・お子さまの発育は個人差がありますので月齢表示は目安にしてください。

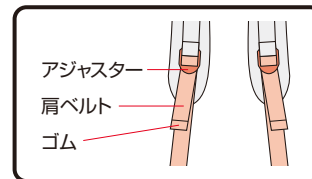
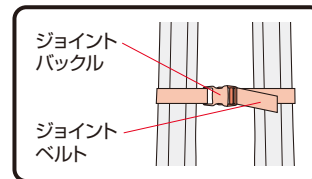
参考月齢	0カ月	首すわり (4カ月)	24カ月	36カ月	体重の上限
タテ抱っこ		首がすわった4カ月から24カ月 (体重13kg) まで			13kgまで
おんぶ		首がすわった4カ月から36カ月 (体重15kg) まで			15kgまで

- ・お子さまの衣類の厚みや体格によっては使用できない場合があります。

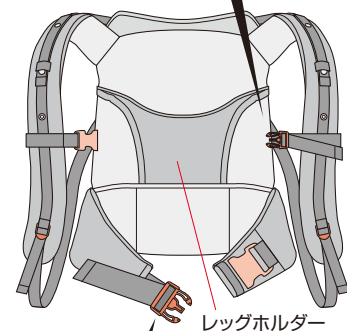
製品を取り出した時に

- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、お買い上げの販売店または弊社お客様サポートセンターまですみやかにご連絡ください。

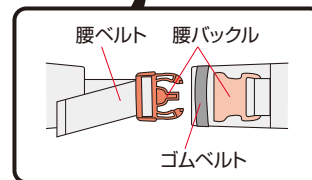
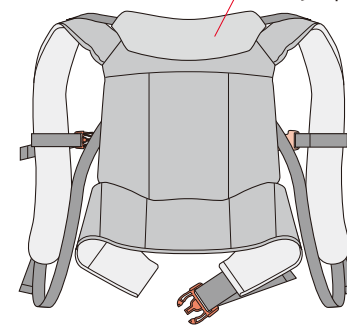
〈各部の名称〉



〈抱っこひも 内側〉



〈抱っこひも 外側〉



〈付属品〉



取扱説明書(本書)

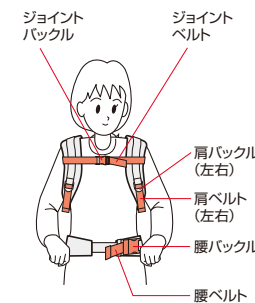
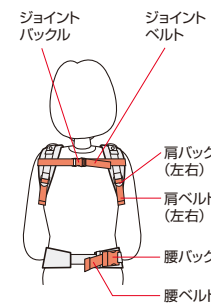
※品番・ロット番号は品質表示ラベルに記載されています。
品質表示ラベルは、腰ベルト裏側に縫い付けられています。

装着状態

〈タテ抱っこ〉



〈おんぶ〉

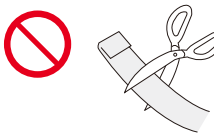
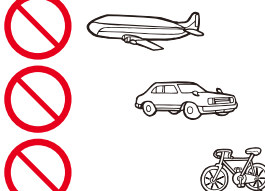


ご使用上の注意

ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず守ってください。

⚠ 警告 ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
腰バックル、ジョイントバックルを外した状態で使用しない。 お子さまが落下するおそれがあります。  タテ抱っこでは、体重13kgを超えるお子さまに使用しない。 お子さまが落下するおそれがあります。 	肩ベルト、腰ベルト、ジョイントベルトは必ず調節し、ゆるめた状態で使用しない。 お子さまが落下するおそれがあります。  おんぶでは、体重15kgを超えるお子さまに使用しない。 お子さまが落下するおそれがあります。 	走ったり、跳んだり、前かがみなどの無理な姿勢をとらない。 お子さまが落下するおそれがあります。  ポケット付きの場合は、とがったものを入れない。 お子さまがけがをするおそれがあります。 	首のすわらない、お子さまに使用しない。 お子さまが体調を損なうおそれがあります。  授乳後30分以内は使用しない。お子さまのおなかを圧迫することがあり、消化吸収を妨げるおそれがあります。装着状況を確認する必要があるため、連続2時間以上使用しない。お子さま、使用者が体調を損なうおそれがあります。 

⚠ 警告 ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
・お子さまを使用者の身体に顔を強く押しあてた状態にしない。本製品内で窒息するおそれがあります。 ・お子さまを使用者の身体に強く縛り付けた状態にしない。お子さまの頭部を動かす余裕があるように装着する。本製品内で窒息するおそれがあります。 ・着脱する際は、お子さまの落下に注意し正しく装着する。お子さまが開口部から落下するおそれがあります。 ・お子さまを乗せる時や降ろす時は、必ず安全な場所で行う。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。	・おんぶや抱っこをする時や降ろす時は低い姿勢で行う。身体を傾ける際に落下しないように気を付け、手で支える。また頭が下向きにならないように膝を曲げて腰を落とす姿勢で行うよう注意する。お子さまが落下するおそれがあります。 ・お子さまの状態に注意しながら使用する。気道がふさがると窒息するおそれがあります。 ・お子さまの顔が強く使用者の胸について気道をふさぐ状態で使用しない。気道がふさがると窒息するおそれがあります。	・使用者およびお子さまの体調がすぐれない時や、使用中に痛みや不快を感じた時は直ちに使用を中止する。使用者およびお子さまの体調を損ねたり思わぬ事故につながるおそれがあります。 ・料理など家事をする際は、お子さまの様子に注意する。家事に気をとられ、お子さまのやけどなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。 ・梱包袋（パッケージ）はお子さまがかぶらないよう放置しない。窒息する可能性があります。	

⚠ 警告 ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
ベルトの先端の返し縫い部をほどいたり、切り落とした後に使用しない。 お子さまが落下するおそれがあります。 	バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずがある状態では使用しない。 お子さまが落下したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。 	飛行機、車、自転車、バイクでは使用しない。 思わぬ事故につながるおそれがあります。 	バックルは使用していない時も外したままにしない。 お子さまがバックルに指を入れるおそれがあります。 

⚠ 注意 ・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。			
抱っこでは足元が見えにくくなる場合がありますので歩行には充分注意してください。 	暖房器具の近くなど高温になる場所に製品を放置しない。 	直射日光のあたる場所に保管しない。変色や劣化が早まります。 	その他、荷物などの運搬や、お子さまを抱っこ、おんぶする以外の目的での使用をしない。 

バックルの使い方

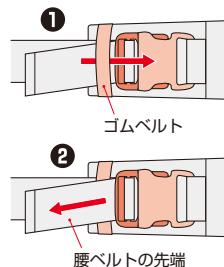


- ・バックルを必ずとめてください。
- ・とめないで使用するとお子さまが落下し思わぬ事故やけがをすることがあります。
- ・腰バックルはゴムベルトに通さない状態で使用しない。お子さまが落下するおそれがあります。
- ・バックルをゴムベルトに通しバックルをとめた後は、必ず、ベルトの先端をゴムベルトの上側に引き出す。

〈腰バックル〉

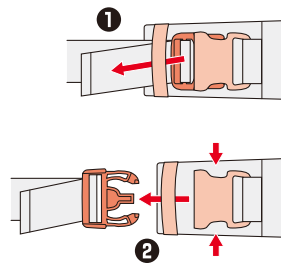
とめ方

- ①腰バックルをゴムベルトに通し、腰バックルをとめる。
- ②腰ベルトの先端をゴムベルトの上側に引き出す。



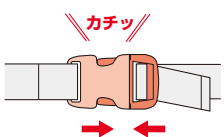
外し方

- ①腰ベルトの先端をゴムベルトに通す。
- ②腰バックルを外し、腰バックルをゴムベルトから抜き取る。

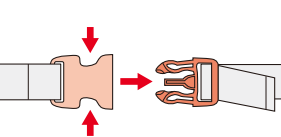


〈ジョイントバックル〉

とめ方



外し方



各部の調節方法



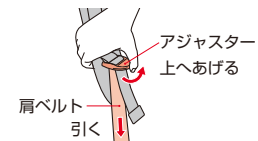
- ・ベルトの長さを使用者の身体にあわせて調節してください。
- ・お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下し思わぬ事故やけがをすることがあります。

〈肩ベルト〉

短くする時

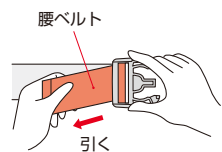


長くする時

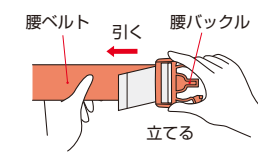


〈腰ベルト〉

短くする時

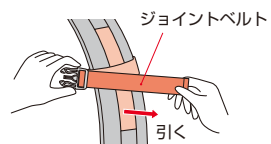


長くする時

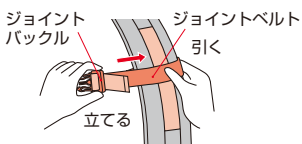


〈ジョイントベルト〉

短くする時



長くする時

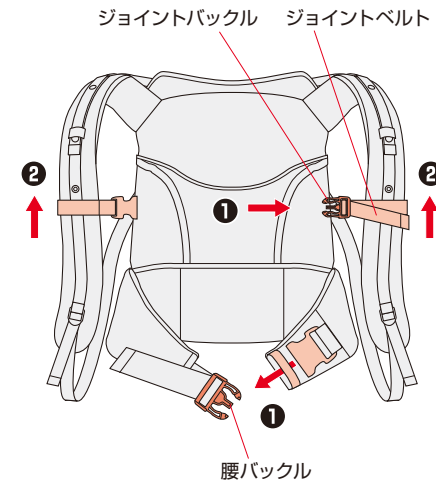


タテ抱っこの準備

- ①腰バックルとジョイントバックルを外す。
- ②ジョイントベルトを上にはずらす。

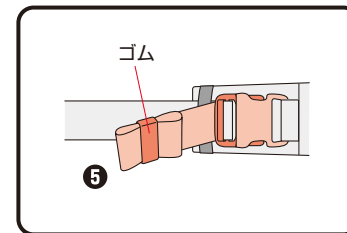
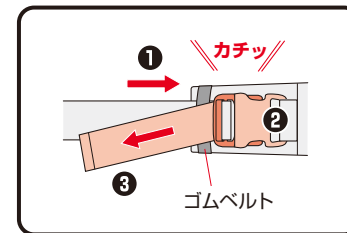
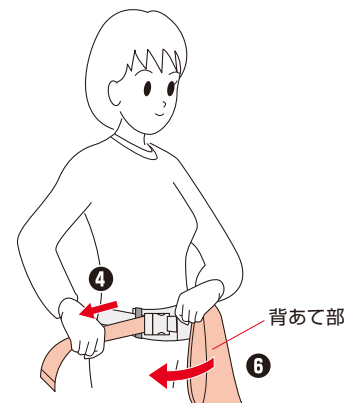
アドバイス

・ジョイントベルトを上にはずらすと、後で(P79)首の後ろでジョイントバックルがとめやすくなります。



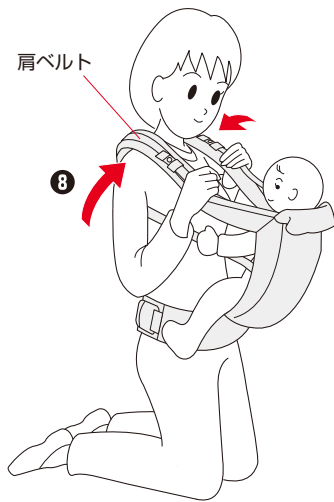
タテ抱っこの装着方法

- ①腰バックルをゴムベルトに通す。
- ②腰バックルをとめる。
- ③腰ベルトの先端をゴムベルトの上側に引き出す。
- ④腰ベルトを調節する。
- ⑤あまったベルトをゴムでまとめる。
- ⑥背あて部を正面にする。

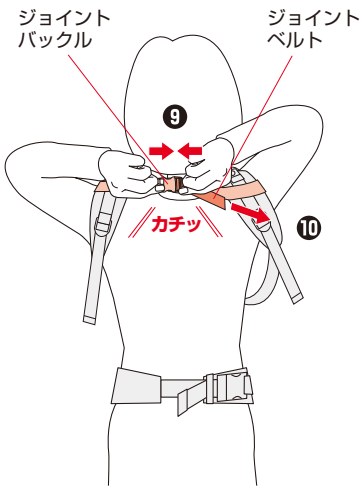


タテ抱っこの装着方法 (つづき)

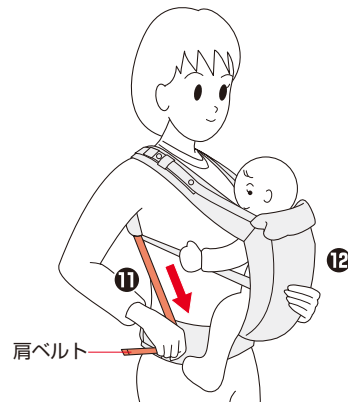
- ⑦ お子さまを抱き上げ、抱っこひもに乗せる。 ⑧ 左右の肩ベルトをかける。



- ⑨ 首の後ろでジョイントバックルをとめる。
⑩ ジョイントベルトを調節する。



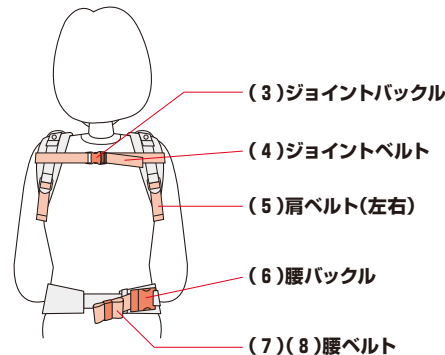
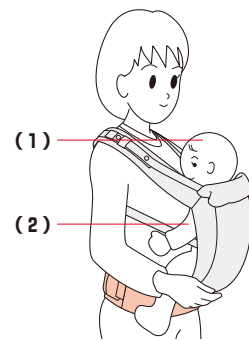
- ⑪ 左右の肩ベルトを調節する。
⑫ お子さまの位置を調える。



- ⑬ 鏡に姿を映して、抱っこの状態を確認してください。
※正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

タテ抱っこの確認

- (1) お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならない
(2) お子さまの両腕が出ている
(3) ジョイントバックルが確実にとまっている
(4) ジョイントベルトを調節している
(5) 肩ベルトを調節している
(6) 腰バックルが確実にとまっている
(7) 腰ベルトを調節している
(8) 腰ベルトの先端はゴムベルトの上側に引き出している



- ⚠ 警告
・鏡に映して、抱っこの状態を確認する。
・正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
・連続して2時間以上は使用しない。お子さまや使用者の体調を損なうおそれがあります。

アドバイス

・タテ抱っこ時も、レッグホルダーを使用できます。使用すると、お子さまがより安定します。(P9参照)

アドバイス

・お子さまの腕は、肩ベルトの外側でも内側でも構いません。外側に出している時に、お子さまが反り返る場合は、肩ベルトの内側に腕を入れてください。

警告

・お子さまを使用者の身体に顔を強く押しあてた状態にしない。本製品内で窒息するおそれがあります。
・お子さまを使用者の身体に強く縛り付けた状態にしない。お子さまの顔の周りに十分な空間があり、頭部が動かせるように装着する。本製品内で窒息するおそれがあります。
・お子さまの顔が強く使用者の胸について気道をふさぐ状態で使用しない。気道がふさがると窒息するおそれがあります。
・お子さまの状態に注意しながら使用する。気道がふさがると窒息するおそれがあります。

アドバイス

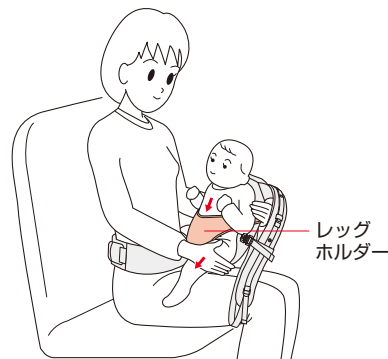
・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
・脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に抱っこひもの跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなることがあります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、抱っこひもに直接触れないようにしてください。

警告

・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

レッグホルダー

- ・レッグホルダーを使用すると、お子さまの体が安定します。
- ・レッグホルダーは、お子さまが小さい間（18カ月頃まで）ご使用ください。
- ・タテ抱っこ、おんぶどちらでも使用できます。
- ・タテ抱っこからおんぶへ変える時（P13～参照）は、必ずレッグホルダーを使用してください。



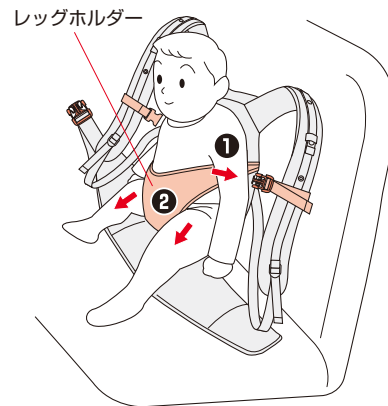
- お子さまの足をレッグホルダーに通して使用します。

警告 ・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

おんぶの装着方法

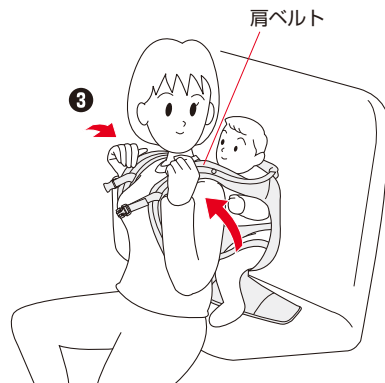
- ①腰バックルとジョイントバックルを外す。
- ②お子さまの足をレッグホルダーに通す。

※レッグホルダーは、お子さまが小さい間（18カ月頃まで）体を安定させる為に使用ください。



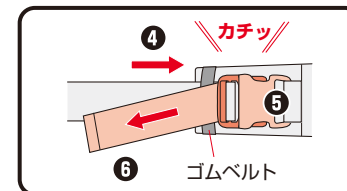
警告 ・お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。特に、ひとり座りができる前のお子さまをおんぶする際には他の人に手伝ってもらったより安全です。不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

- ③左右の肩ベルトをかける。



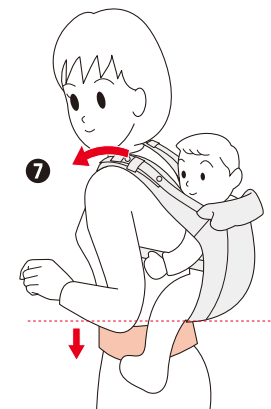
警告 ・お子さまの状態に注意しながら使用する。気道がふさがると窒息するおそれがあります。

- ④前かがみの体勢でお子さまを背負い、腰バックルをゴムベルトに通す。
- ⑤腰バックルをとめる。
- ⑥腰ベルトの先端をゴムベルトの上に出す。



警告 ・腰ベルトと使用者の間に、お子さまの足が挟まった状態で使用しない。お子さまの足がうっ血したり、落下するおそれがあります。

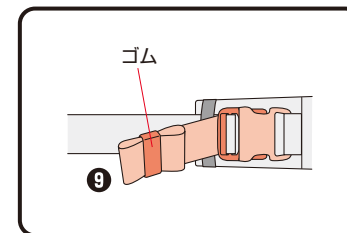
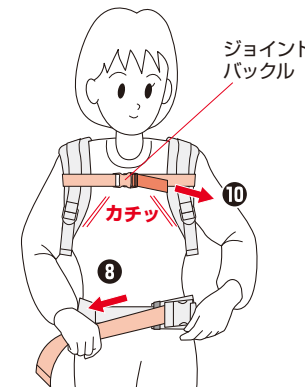
- ⑦お子さまのお尻の位置が腰ベルトより高くなるように調節する。（左右の肩ベルトを調節したり、腰ベルトの位置を下げる。）



アドバイス

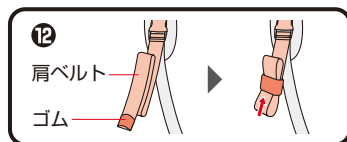
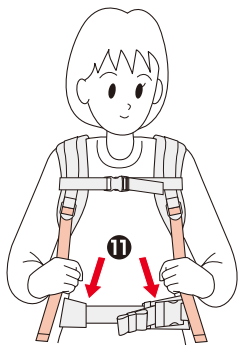
・お子さまが使用者の腰に安定する位置にする。

- ⑧腰ベルトを調節する。
- ⑨あまったベルトをゴムでまとめる。
- ⑩ジョイントバックルをとめ、ジョイントベルトを調節する。



おんぶの装着方法 (つづき)

- ⑪左右の肩ベルトを調節する。
- ⑫あまったベルトをゴムでまとめる。



アドバイス

・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。

・脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に抱っこひもの跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなることがあります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、抱っこひもに直接触れないようにしてください。

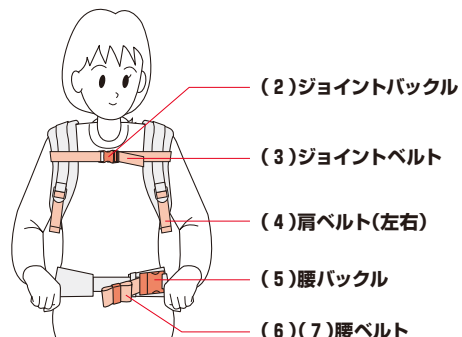
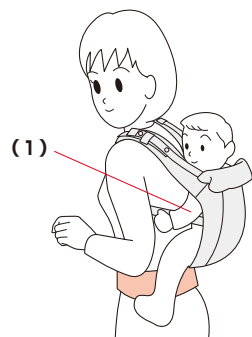
- ⑬鏡に姿を映して、おんぶの状態を確認してください。
- ※正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。



・鏡に映して、おんぶの状態を確認する。
正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

おんぶの確認

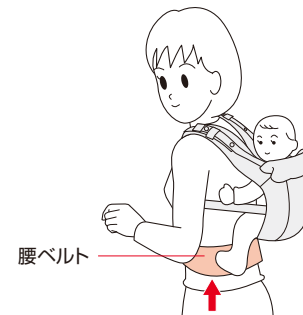
- (1) お子さまの両腕が出ている
- (2) ジョイントバックルが確実にとまっている
- (3) ジョイントベルトを調節している
- (4) 肩ベルトを調節している
- (5) 腰バックルが確実にとまっている
- (6) 腰ベルトを調節している
- (7) 腰ベルトの先端はゴムベルトの上側に引き出している



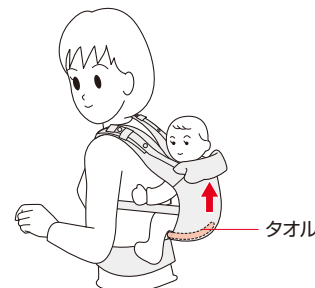
・使用者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。特に、授乳期のお母さまは、乳房を圧迫するおそれがあります。

月齢が小さい時

- ・お子さまの月齢が小さいうちは、腰ベルトを高い位置でとめると、より安定します。

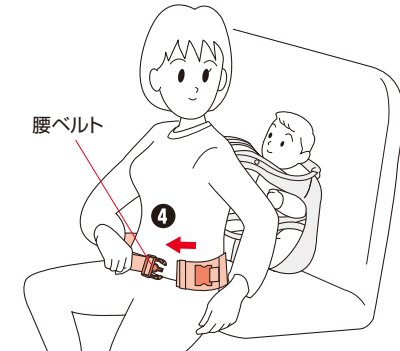
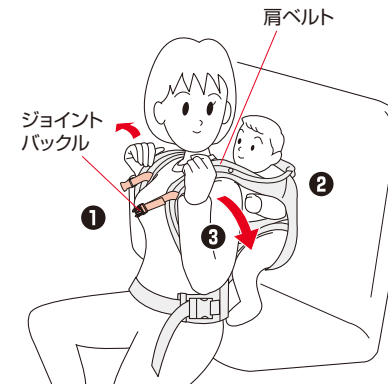


- ・お子さまのお尻の下にタオルを入れ、高さを調節してください。

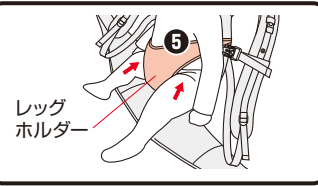


おんぶの降ろし方

- ① ジョイントバックルを外す。
- ② お子さまをゆっくり降ろす。
- ③ 肩ベルトを外す。
- ④ お子さまを降ろし、腰ベルトを外す。
- ⑤ お子さまの足を、レッグホルダーから抜く。



・お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。他の人に手伝ってもらおうとより安全です。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。



タテ抱っこからおんぶへ

①タテ抱っこの状態でジョイントバックルを外す。

②左右の肩ベルトを肩から外し、束ねて持つ。

③両方の肩ベルトをしっかり持ち、前かがみの姿勢になり、お子さまを支えて背中側にまわす。

④左右の肩ベルトをかける。

⑤ジョイントバックルをとめる。

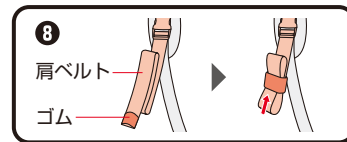
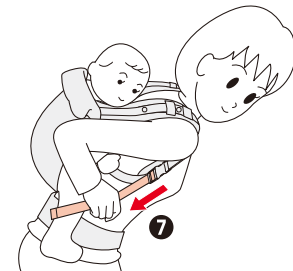
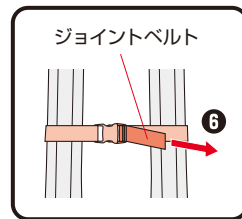
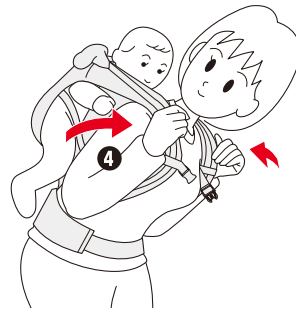
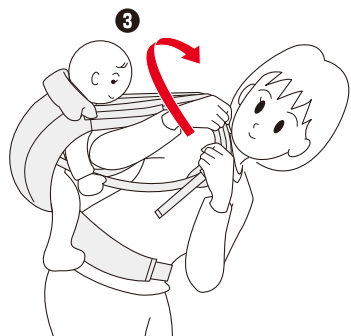
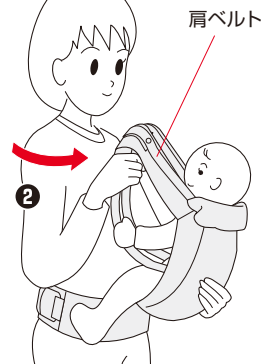
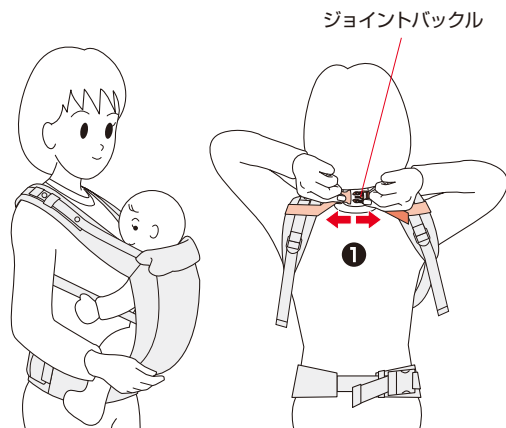
⑥ジョイントベルトを調節する。

⑦左右の肩ベルトを調節する。

⑧ベルトをゴムでまとめる。

⑨鏡に姿を映して、おんぶの状態を確認してください。(P11参照)

※正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。



・タテ抱っこからおんぶへ変える時は、必ずレッグホルダーを使用する。
お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。



・タテ抱っこからおんぶへ変える時は、必ず安全な場所で行う。他の人に手伝ってもらったより安全です。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。



・お子さまの状態に注意しながら使用する。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。
・お子さまの両足が出ていることを確認する。
お子さまの両足が出ていないとお子さまが落下したり、けがをするおそれがあります。

アドバイス

・肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
・脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に抱っこひもの跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなる場合があります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、抱っこひものに直接触れないようにしてください。



・鏡に映して、おんぶの状態を確認する。
正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

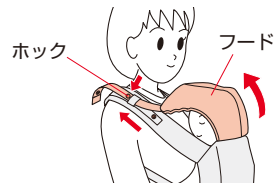
フード

- ・お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。
- ・風よけや日差しよけにもなります。

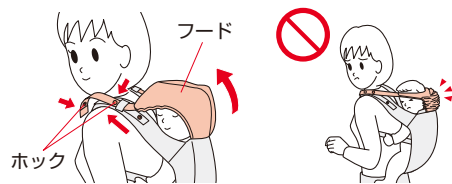
〈使用する時〉

- ①左右のフックを外す。
- ②お子さまにフードをかぶせ、引っ張って左右のフックをとめる。

●タテ抱っこ時



●おんぶ時



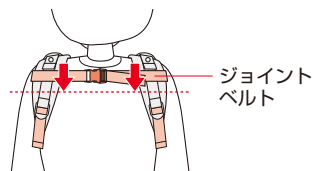
・フードを使用する際は、特にお子さまの様子に注意してください。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

快適な抱っこのために

- ・より快適な抱っこのため、各部の装着のポイントをご確認ください。

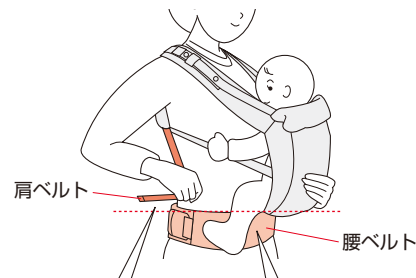
〈ジョイントベルト〉

- ・ジョイントベルトの位置が高くなりすぎている場合は下に下げる。



〈腰ベルト〉

- ・腰ベルトがゆるんでいないことを確認してください。

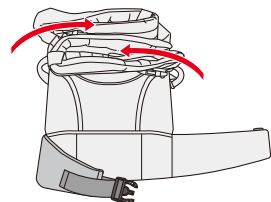


お子さまのお尻が腰ベルトより下にならないように肩ベルトの長さを調節

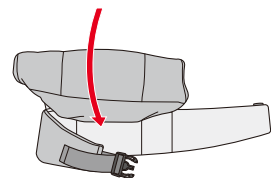
腰ベルトを腰骨より少し高い位置に装着(腰ベルト上面が水平になるように)

本体の折りたたみ方

- ①左右の肩ベルトをまとめて、折りたたむ。



- ②肩ベルトを内側に巻くようにして本体を丸める。



- ③腰バックルをとめて、腰ベルトを調節する。



点検について

- ・ご使用前に、バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずが無いことを確認してください。異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

お手入れについて

〈軽度の汚れの場合〉

- ・湿らせた布でたたいて落としてください。その後、形を整え日陰で平干してください。

〈抱っこひも本体を洗濯される場合〉



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

- ・洗濯による色落ちなどは保証の対象外となります。



注意

- ・本製品は乾燥機を使用しないでください。また、脱水機は使用しないでください。バックルなどの破損や、変形につながるおそれがあります。
- ・他の洗濯物とは別に洗濯してください。色落ちし移染するおそれがあります。
- ・蛍光剤入りの洗剤、漂白剤を使用しないでください。
- ・漬け置きしないでください。
- ・雨や汗などでぬれた場合や洗濯後は放置せず充分乾燥させてください。
- ・カビなどが発生するおそれがあります。
- ・バックルは必ずとめてから洗ってください。バックルが破損や変形につながるおそれがあります。
- ・余ったベルトをゴムでとめている場合は、外してから洗ってください。ゴムがのびてしまうおそれがあります。

保証とアフターサービスについて

- ・保証期間中(購入日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償にて対応をいたします。ただし、製造中止後の製品については、対応出来ないこともあります。

〈アフターサービスについての連絡先〉

〈電話連絡先〉

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合 (通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

受付時間: AM10:00~PM5:00 (土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

SGマーク制度について



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。

ただし、抱っこひもの場合、ご購入後3年以内の製品が対象となります。

〈抱っこひものSGマーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです。〉

- ・タテ抱っこ：4カ月から24カ月(体重13kg)まで
- ・おんぶ：4カ月から36カ月(体重15kg)まで

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。

連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。(原則として60日以内)

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階 TEL 03-5808-3300

- 〈事故の届出に必要な項目〉
- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ)製品の名前、SGマーク番号 ロ)製品の購入先、購入年月
 - ②事故発生の状況
イ)事故発生年月日 ロ)事故発生場所 ハ)事故発生状況
 - ③被害の状況
イ)被害者の氏名、年令、性別、職業、住所 ロ)被害の状況と程度